

6月は読書月間です

6月は『読書月間』です。いつもたくさん本を読んでいるみなさんですが、いつもよりもっと「本を読むぞ!」という気持ちで取り組んでみましょう。雨の多い季節ですから、運動場で遊べない日や体育館がつかえない日は、教室でしずかに本を読んでも構いません。

そだてよう! 読書の木

本を読んで『読書の木』を育てましょう!
本を読んだら、ピンク色の用紙に書いて、図書室前にある自分の学年のコーナーにはっていきます。期間は6月1日から6月30日までの1カ月間です。いちばん大きく育つのはどの学年の木でしょうか? みなさん、がんばってください!

なまえ
タイトル

ピンク色の用紙が追加してほしい人は
図書室の先生か図書委員さんに声を
かけてください。

おおきくそだてよう~!



本を読んだらピンク色の用紙に
「自分のなまえ」
「読んだ本のタイトル」
を書きます!
見た人が「この本読みたいな」と
図書室でさがせるように、本の
タイトルはしっかり書きましょう。



『カッパのあいさつ』 高畠那生:作 長崎出版:出版



カッパのあいさつは、うしろむきなのです。けれどいきおいが
ありすぎてゴチン! パリン!! 頭のさらがわれてしまいました。
二人は、われたさらのかわりをさがしにでかけてゆきます。
(低学年向け)

『あまがえる先生 ミドリ池きゅうしゅつ大作戦』



松岡達英:作 旺文社:出版

大地震でひびわれて、水がなくなってしまったミドリ池から
あまがえる先生が知恵をしぼって生き物たちを助けます。水辺に
すむ生き物や昆虫たちがこまかく描かれていて、絵を見るだけ
でも楽しいです。SDGsを考えると考えるきっかけにもなる1冊です。
(低学年・中学年向け)

『雨ふる本屋』 日向理恵子:作 童心社:出版



おつかいの帰り道、あまやどりをしようと入った図書館でカタツ
ムリを追いかけているうちに、ルウ子はふしぎな本屋にまよいこみ
ます。店主はドードー鳥のフルホンさん、助手で妖精使いの舞々子
さん。この店にある本は、人間にわすれられた物語と雨でできている
のだそう。けれど最近「物語の種」がうまく育たなくなってきたので、
〈夢の力〉をかしてほしいとたのまれます。
(中学年・高学年向け)

移動図書館いるか号

移動図書館いるか号では1人5冊 かりましょう。

【1年生~3年生】: 6月20日(木) 【4年生~6年生】: 6月25日(火)